

方策を取るかについては、木田常任理事と住常任理事がこれらの議論を参考に具体案を作り、それを基に常任理事会で検討していくことになった。また、総会成立が困難な事態も有り得ないことではないことから、常任委員会でのような緊急事態における対応策についても検討したうえ、第5回理事会にはかることになった。

#### 8. その他

- ・5月17日(月)に開かれた第8回IUGG準備委員会の報告:

バーミンガムのIUGG総会において、7月18日に日本とインドによる次期IUGG招致説明会があり、その後投票日まで展示ブースを使ってパンフレット配布などの招致活動が行われる。23日の投票で次期開催地が決定する予定。

組織委員長や実行委員の選出に関して、準備委員会が行うのは筋違いとの意見が出され、準備委員会は招致のための準備までを担当し、それが完了する7月23日をもって解散する。開催が決定した場合には、地球物理学研究連絡委員会のルートで関連学会に対して実行委員の推薦を求め、その後実行委員が組織委員長を決める。準備委員会は、実行委員会の規約を作り、その規約に従って実行委員会が円滑に立ちあがるようにする、という方針で今後進みそうである。

- ・WPGM (Western Pacific Geophysical Meeting) に関し、前回の金沢WPGM'89の例に沿って、組織委員会委員には学会代表として廣田理事長、実行委員会プログラム委員には講演企画担当の住常任理事を推すことに決まった。

### ==== 編集委員会だより ====

## 「学位論文紹介」投稿のお願い

「天気」では毎年、過去3年度の間に学位が授与された大気科学に関する学位論文の紹介を行っています。今年度の締め切りは8月31日としますので、以下の要領に従って奮って投稿していただくようお願いいたします。

1. 個人からの投稿及び研究室等からの一括投稿のいずれも受け付けます。一括投稿の場合の代表者は教官でなくとも結構です。
2. 対象論文は過去3年度の間(今年度の場合1996年4月1日から1999年3月31日まで)、修士あるいは博士の学位が授与された大気科学に関する論文とします。外国の大学・大学院から授与されたものも対象に含めますが、すでに「天気」の学位論文紹介欄に掲載された論文は除外します。
3. 投稿者は8月31日までに、氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレスまたはFAX番号、及び、

個々の学位論文について、

- |             |              |
|-------------|--------------|
| (1) 大学・大学院名 | (2) 研究科名     |
| (3) 博士・修士の別 | (4) 学位取得の年・月 |
| (5) 著者名     | (6) 論文題目     |

の6項目を明記の上、担当委員まで電子メール(ohfuchi@frontier.esto.or.jp)、または郵便(〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4、気象庁内、日本気象学会「天気」編集委員会学位論文担当)で送付して下さい。送り状は不要です。編集の効率化のために、なるべく電子メールを使うようお願いいたします。

4. 投稿者に対する原稿受領の連絡と、記事内容の確認が必要な場合の問い合わせは、電子メール(やむを得ない場合は他の方法)により担当編集委員が行います。投稿後1か月を経ても連絡がない場合は、投稿先に問い合わせるようお願いいたします。